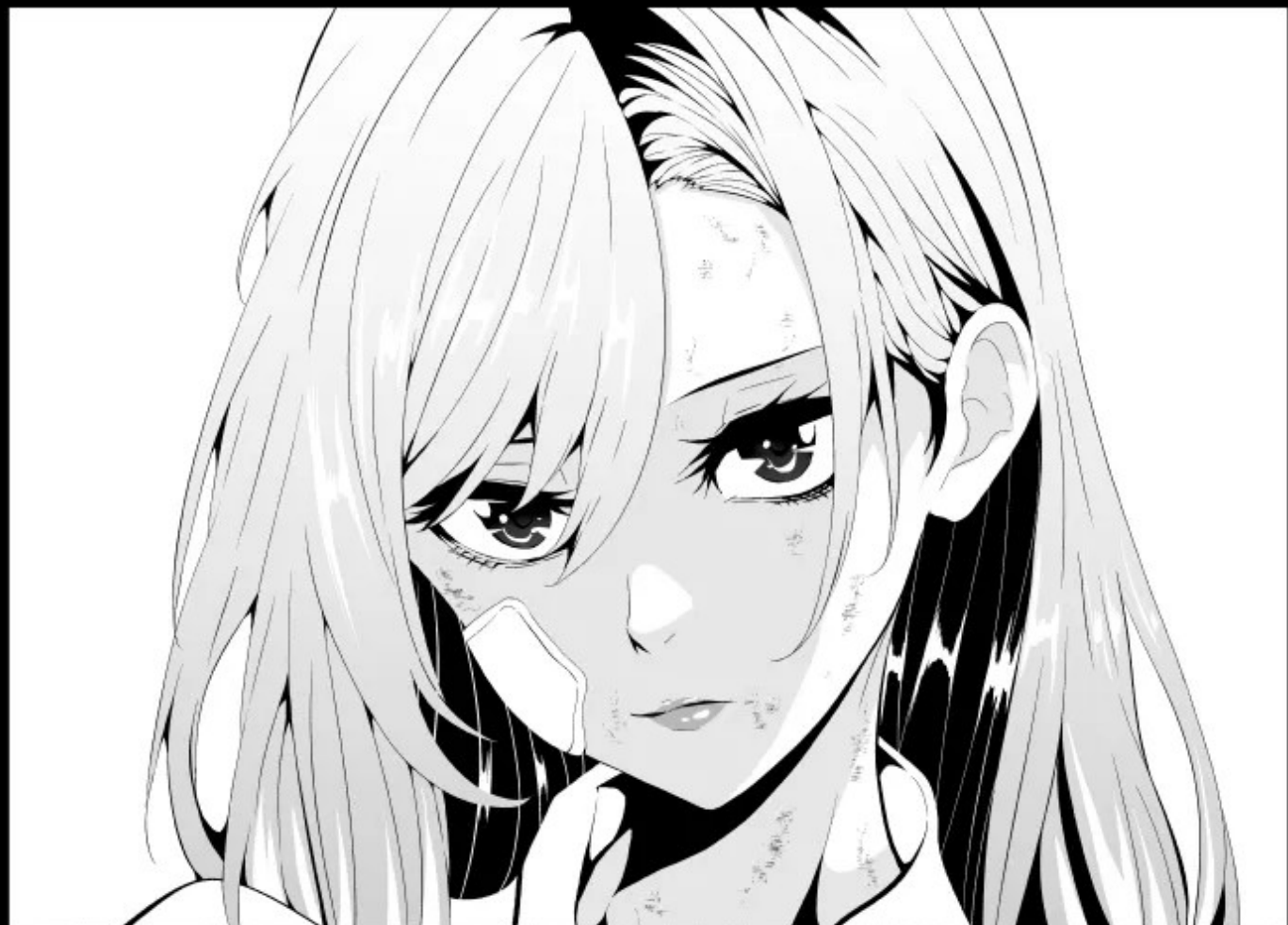




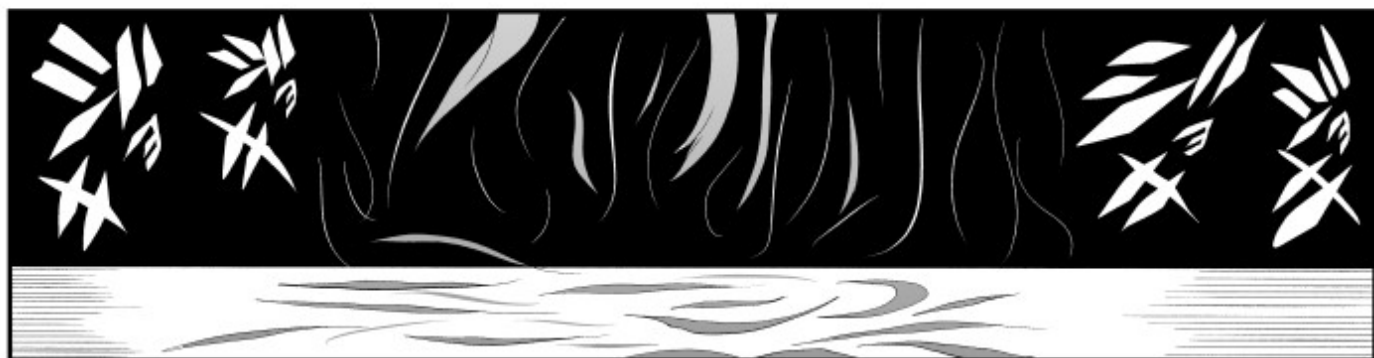
9 不良少女 白目失禁敗北











ふあー

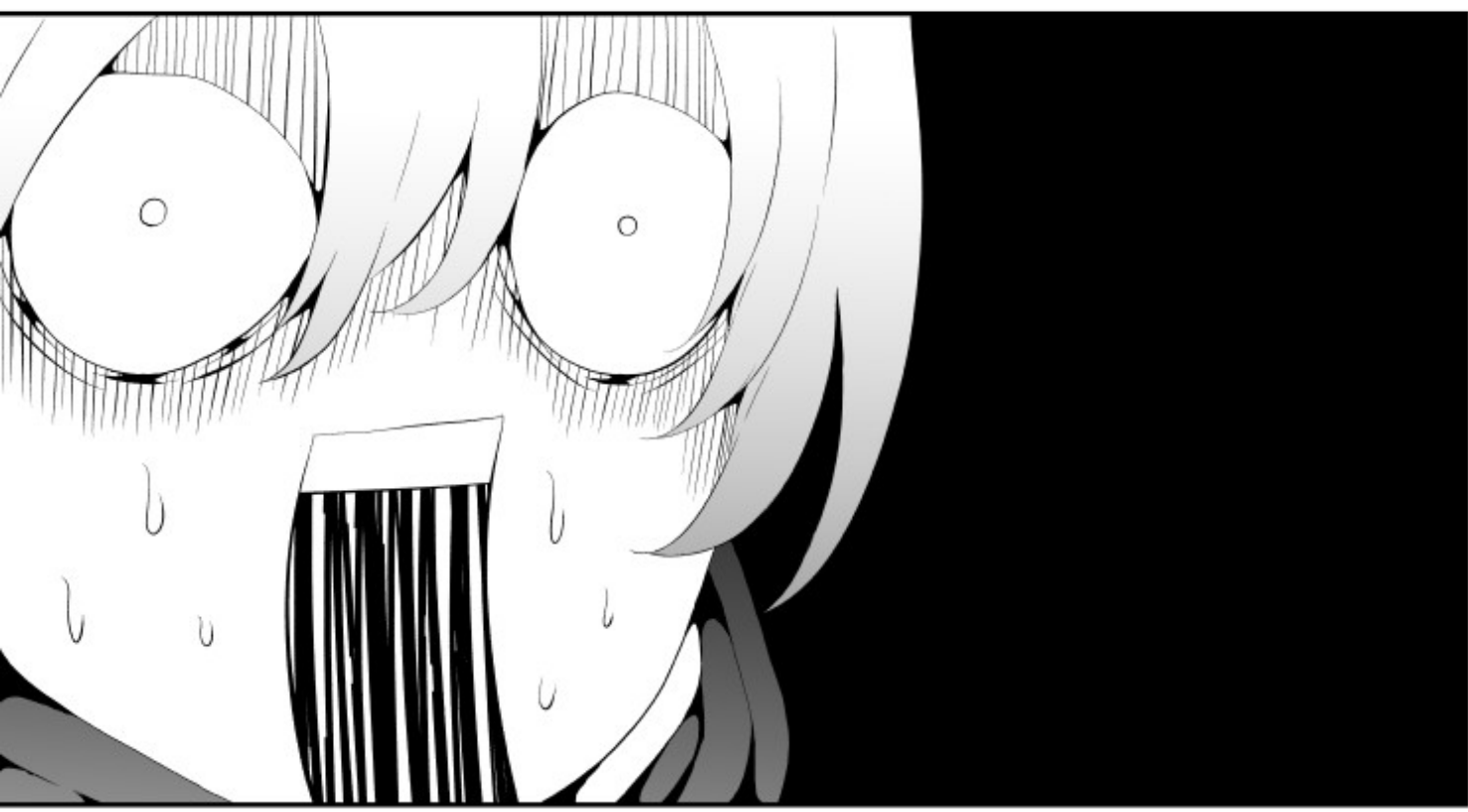
ねむっ

おっす

あっ
まなちゃん
おはー！

不良少女
アオイ

よ



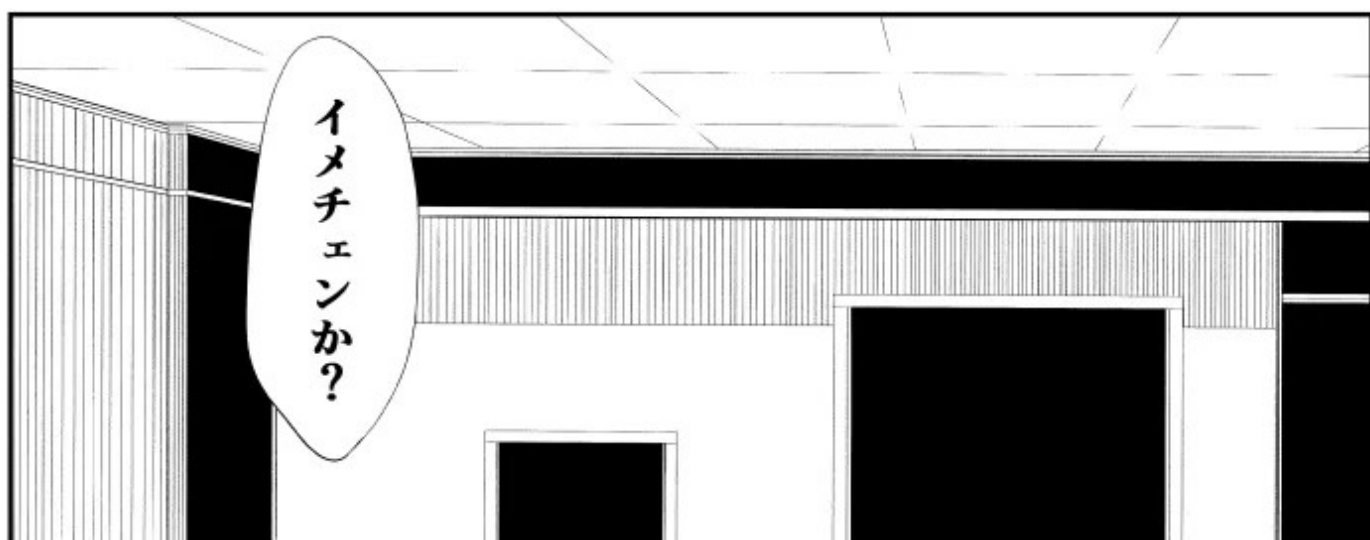
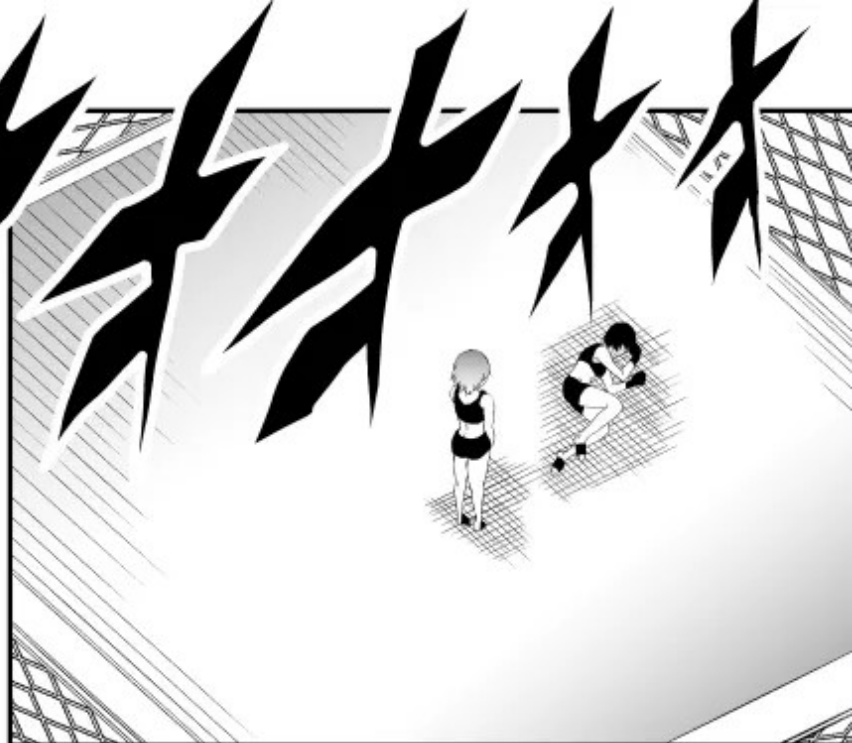


まなちゃんの髪が
空前絶後のジャースティス!!!

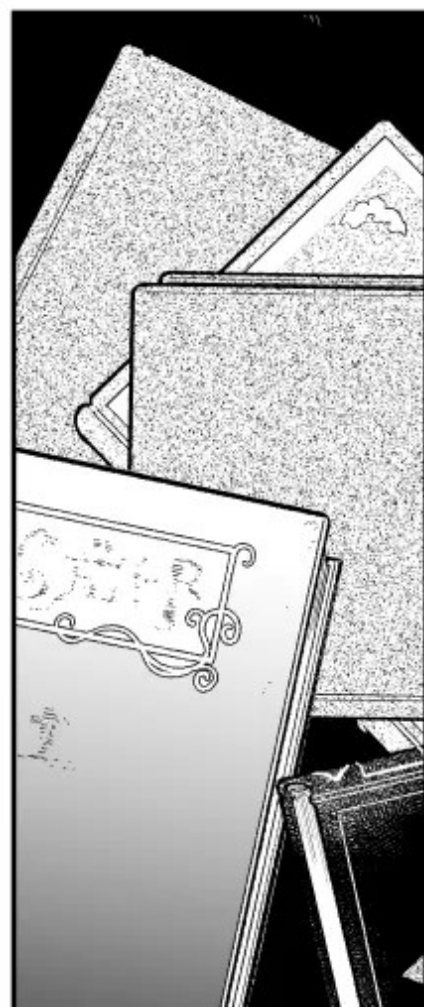
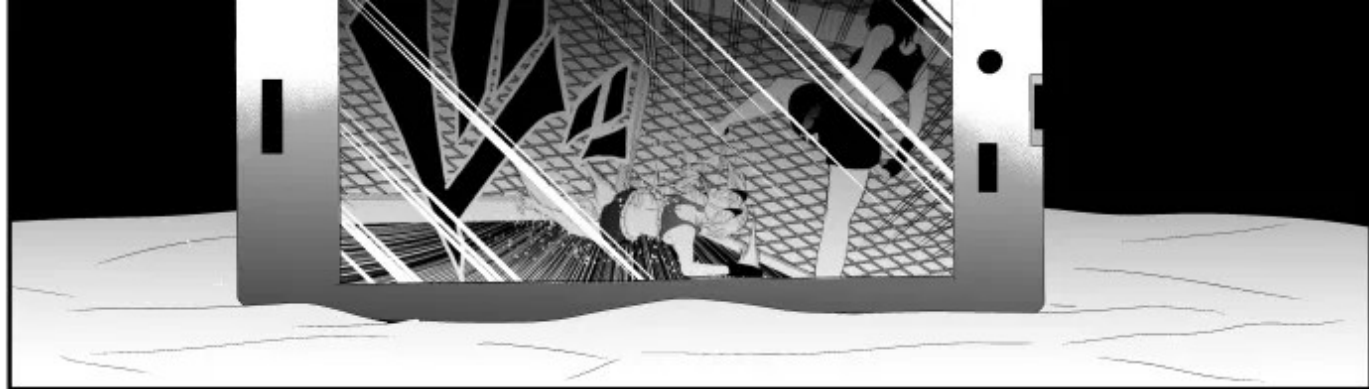
07 : 58













半年後一







地下格闘技場 最終日





(ランキング二位)

ミナ

VS

(ランキング三位)

マナミ





……うん



アナタ達は？

最終日って
聞いたから
友達の応援を……

こーゆう所は
怖いけど
クロサワ様も
いるし……



……
観てって
くんねえか？

へ？



今日も試合
観ねえのか？
最終日だぞ

興味ない
ナリ



頼むよ



















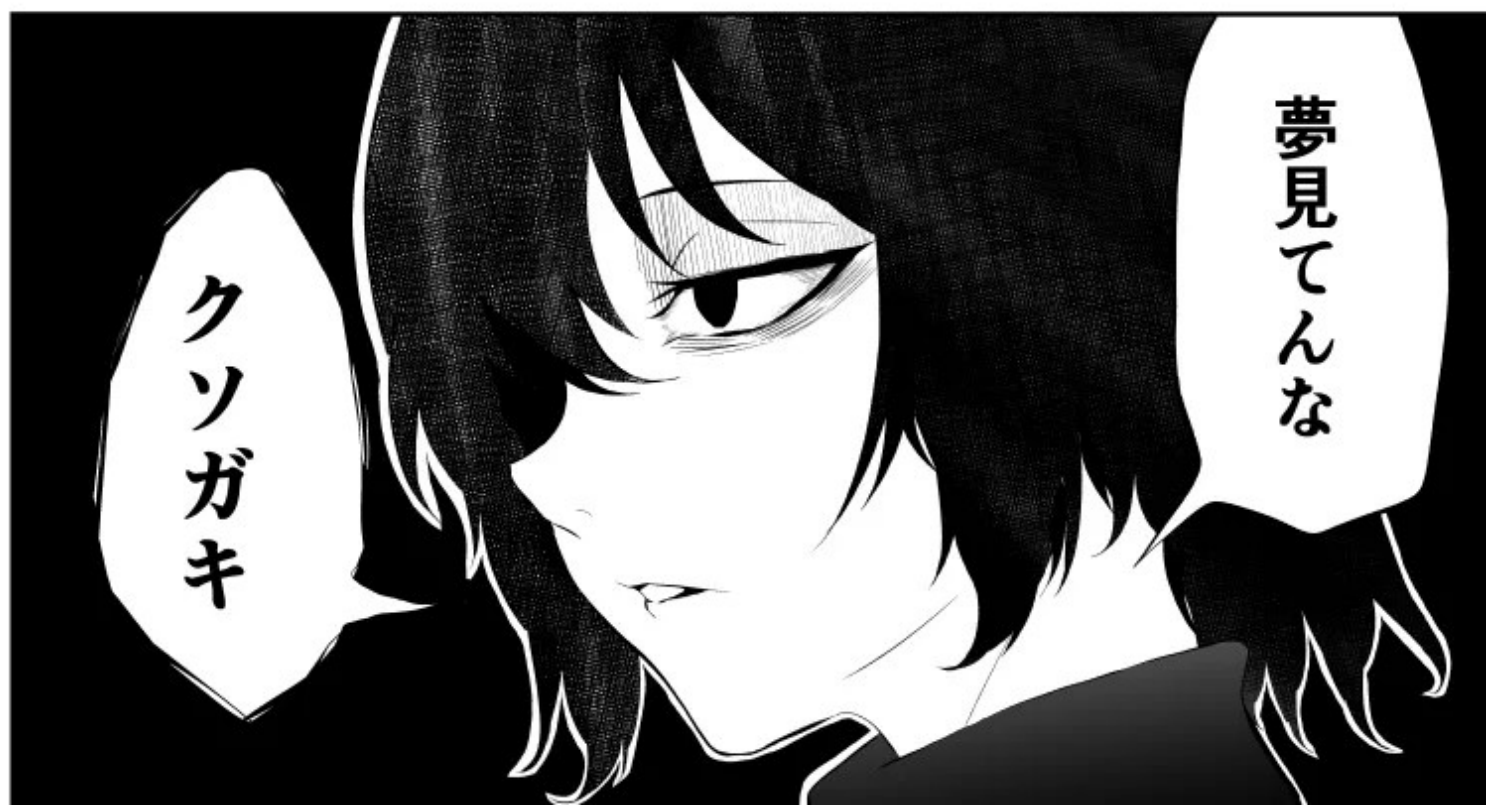
てめえとは
積み上げてきた
年月が違うんだ



ぐあ・・・がっ



だからよー



夢見てんな

クソガキ



キレイイに
決まったね

カウンター



……ええ

彼女の
得意技ですから



あわわ
まなちゃん
ピンチ!!

……まあ



効いてるナリね





ぐあ……っつ

隙がねえ……！

鉄壁の
ディフェンスと
カウンター



……てめえ
みてーに



……しぶてえな

無駄だ
つつてんだろ



眼キラキラ
させて理想
語る奴なんざ
山ほど見てきた

大口叩いてよ
実際蓋開けて
見れば
なんてこたあねえ

結果も出せねえ
努力も続かねえ

ただの
口だけヤロウ



……はっ



見てて
吐き気すんだよ

カス



今日は随分
現実的だな



…んだよ

いつもは
人を食った様な
ことばっか
言うくせによ



…まるで

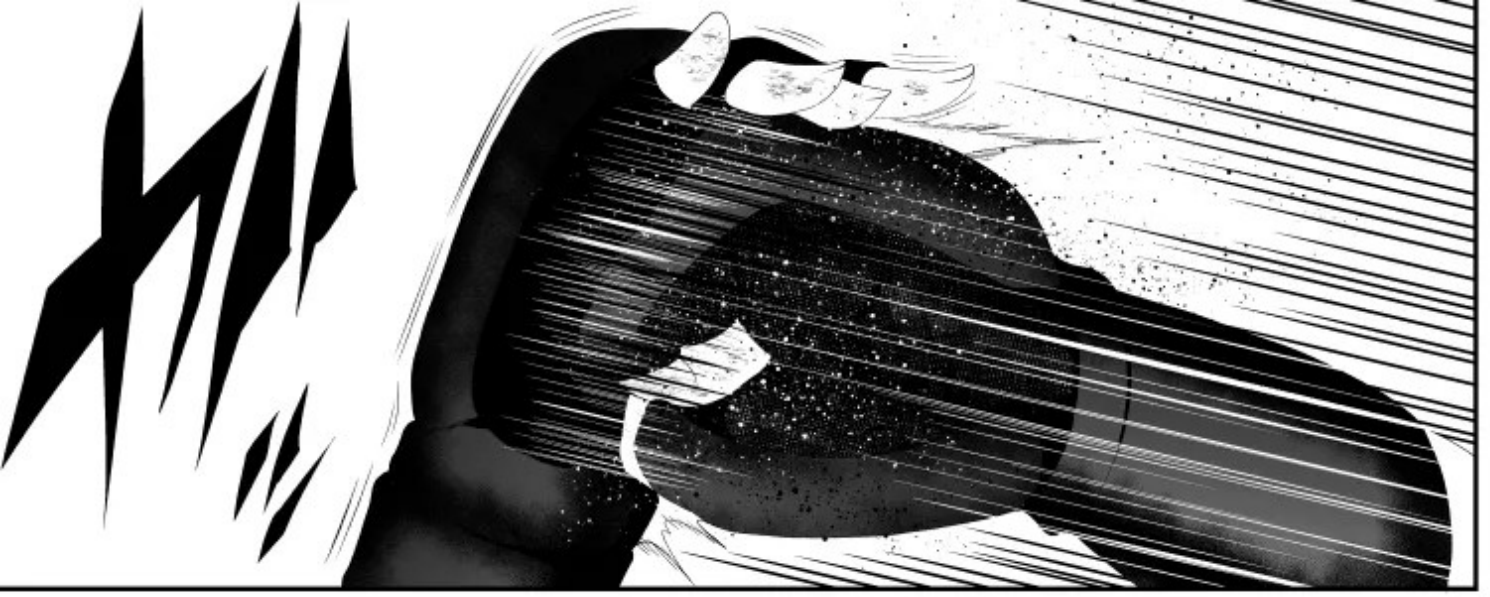


自分自身に
言ってる
みてえじゃん

なあ？















がっ……っ



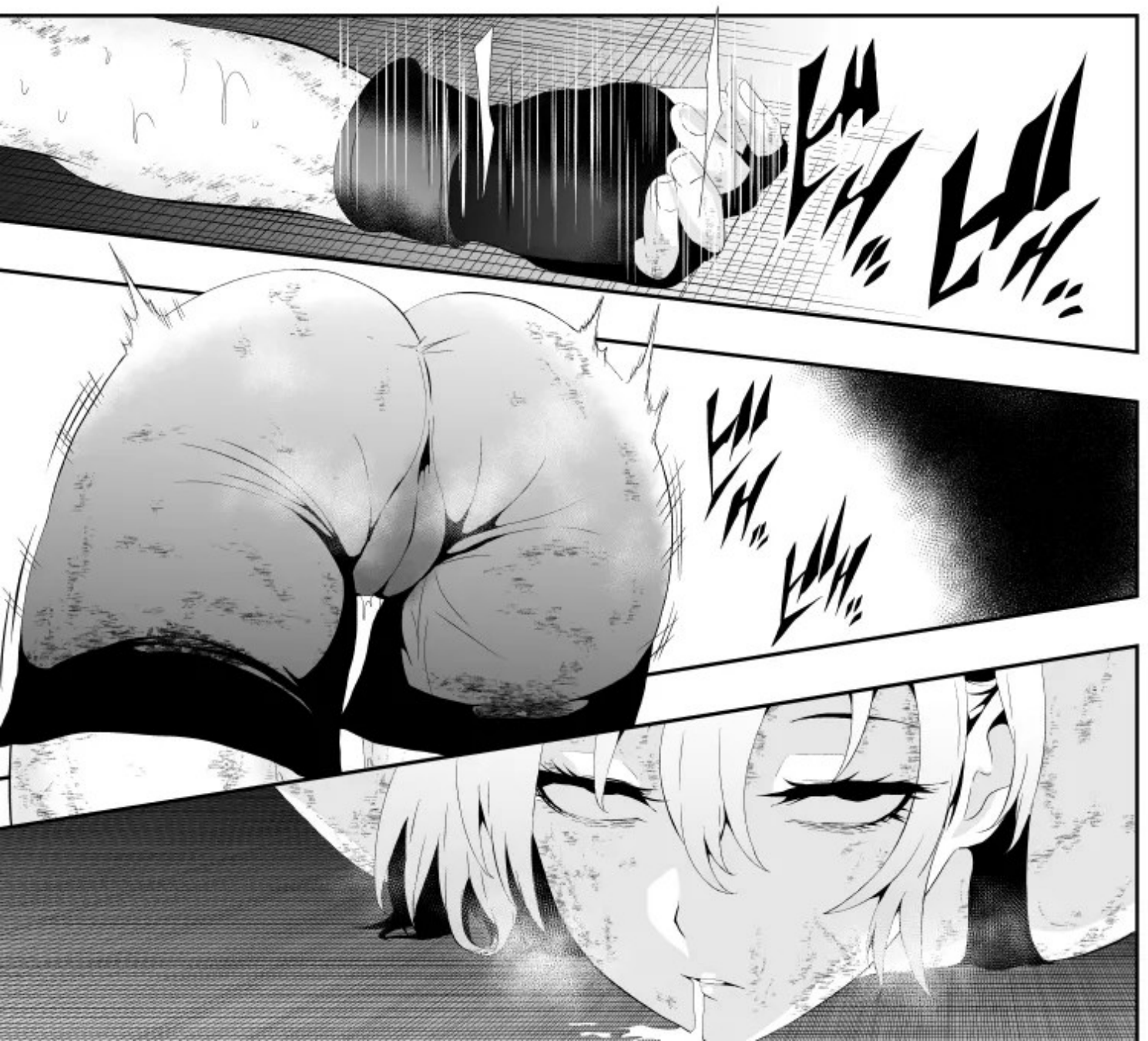
……っあ……



—



オエエツッ!!





経験の差



クソヤンキーも
相手を研究してた
みたいだけど

それ以上に
相手の方が
応用力があった

半年間で
アイツを
超えるには――



……足りない



足りてない
ものが
多すぎるナリ

まなちゃん

最近
なに見てんの？



動画

クソオタクや
クソヘンタイが
でてる奴

ふりん
対策ってやつ？

まあそれも
あつけど
なんつーか





やっぱ
スゲーよな
こいつら

なんか自分で
曲がりなりに
も鍛え始めた
からこそ

よけい凄さが
分かるというか



とにかく
スゲー

語彙力

うるさいな



最近読んだ
本で面白い
言葉があつてさ

本？

「千鍛万錬」

「千日の稽古を
もって鍛とし、
万日の稽古をもつて
錬となす。」



……アイツら
どれだけ
長い時間
積み上げて
きたんだろーな

……まなちゃん

活字の本
読めたんだ

ラノベが
ギリだと

ふっとばすぞ
てめえ

……足りない

そんなことは
たぶんー

まなちゃん自身が
一番分かってる



不良少女には
師がない

書物や
動画などで
基礎を学び
実践で試す

我流

そのなかで
彼女が唯一
参考にした
人物――



裏地下格闘技場
全試合無敗

怪物

天才

最強

覚えている

そのクロサワに
誰よりも
挑み続け

誰よりも
敗北した
不良少女は



天才の
技も技術も

身体が
覚えて
いる

何の用？

おえ

！……

相変わらず
当たらねえ

それでもいつも
カウンター
喰らって負けた

なら

けひひひ

ザコが
出直して
きたまえ









ド素人の
不良が
曲がりなりにも

あの格闘技場で
やりあつて
きたんだ

センスだけなら
お前は――



クロサワより
上だよー



効いてます
……ね



けひひひ
拙者の動き
そっくりナリ



あの動き……



アレは
内蔵系にモロに
喰らうからなく

しゃがみ込み
たいのを
今必死に
堪えてると
思うより



もしかして
まなちゃんが
今有利!!

……ダメージで
いえば……



けひひひ
クソヤンキーも
良いのいくつか
もらってる

分からなく
なってきた
ナリね







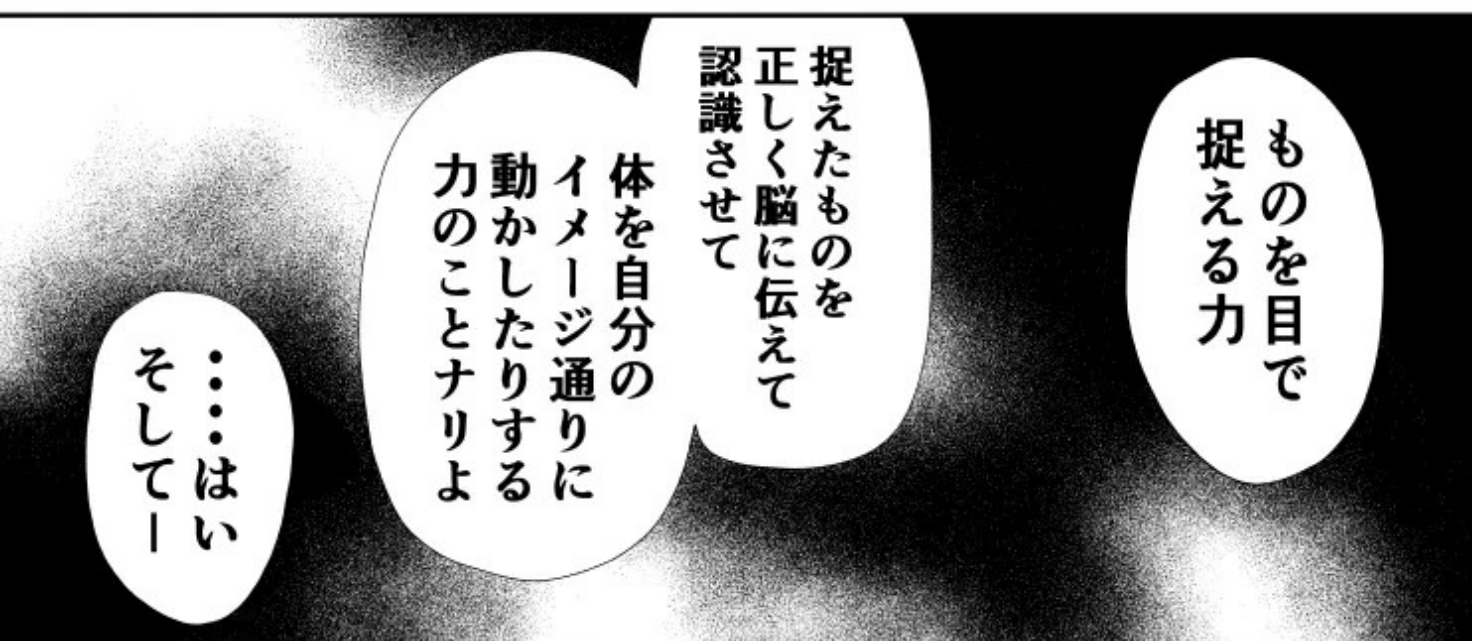
「視る力」
つてのはー



眼？

正確には
「視る力」
ですね

？



ものを目で
捉える力

捉えたものを
正しく脳に伝えて
認識させて

体を自分の
イメージ通りに
動かしたりする
力のことナリよ

……はい
そしてー



彼女はソレが
ずば抜けて高い

見たものを
正確に
アタマに
イメージして

目と手を
連動させて
動かす

その力を
彼女は

アナタを
視ることに
使った

はあ

はあ...

...ナメやがって

はあ...

...お前が

.....

…お前が
強いことは

知ってんだ…

…お前が
お前達が
どんだけ…

鍛えて
戦って
きたかも…

…そして
アタシが…

…お前達よりも
力が劣ってる
ことも知ってる…

全部分かった上で
お前に
勝ちたくて…

試合してんだ…

ナメてんのは
どっちだよ

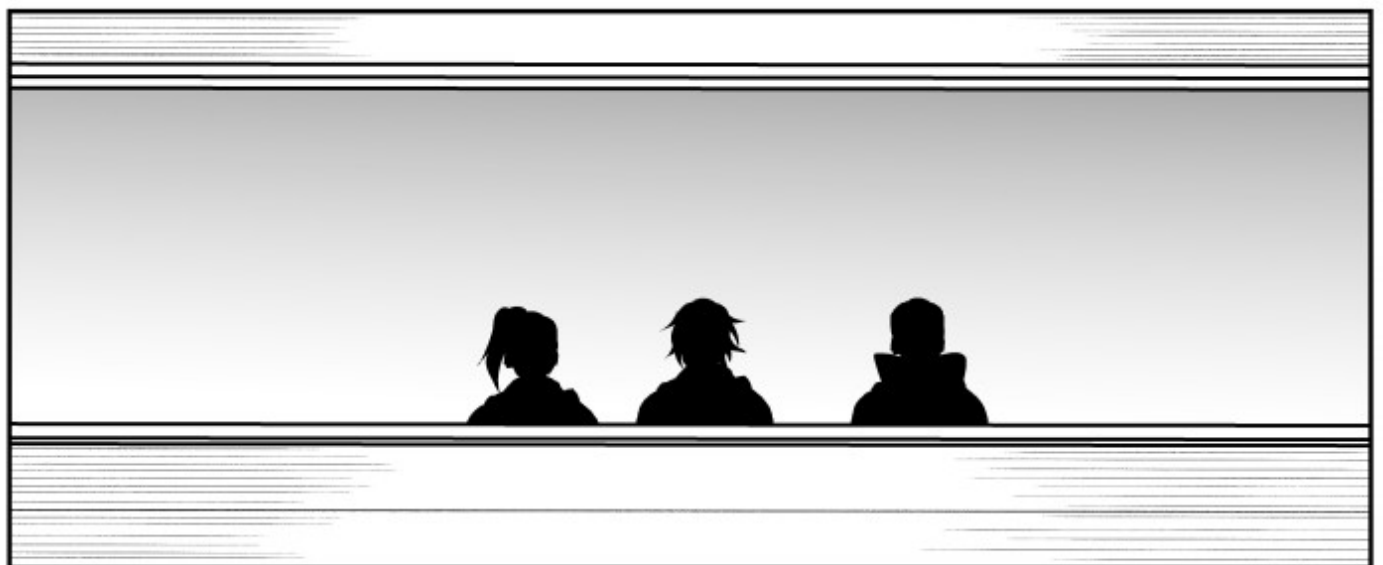
いつまでも
スカしてねえで

ちゃんと
アタシのこと
視ろよ！





殴り合いする
度胸のねえ奴が
人にケンカ
売ってんじゃ
ねえよ









何だお前



あ？まさか
イジメられて
たのかよ

・・・違う

コイツらの
仲間じゃ
ねえのか？



クハ！
凶星かよ



.....

ちなみに
何で？

…学校の男に
口説かれた

断ったけど
ソイツ
アンタが今
ボコった女の
元カレだったの

あん？

女グループの
決まり事

友達の
元カレに
手を出すのは
ルール違反

手出したのは
男の方
じゃねえか

誘惑したと
思われた

んだそれ
わけわかんね

本当にね

暗い奴…

それが
私とミアの
出会い



元々学校は
不登校気味
だったし

不良グループと
つるんでたら
女グループは
手を出してこない

ミアは
私のことを
気に入りに
仲間にと
取り繕ってくれた



日系
アメリカ人？



学校や
家族とい
る時
よりも

単純に
居心地が
良かった



っても
日本には
行ったこと
ねーし

興味も
ねえけどな

.....

それよりもだ

今は金貯めて
アイツらと
ビジネスでも
始めようかと
考えてんだよ

.....私は？

お前は
ちゃんと
学校行けよ

わざわざ
危ない橋
渡る生活する
必要ねえだろうが

最後まで
責任とって
下さい：よ

ばあか

本当に
居心地が
良かったんだー

そして

終わりが
やってくる

……強盗に
入った家が
ポリ公の
家だった……

いつもだったら
念入りに下調べ
すんのにな

アイツら
酒と薬を
ヤツた勢いで
勝手に
襲いやがった

……
捕まったん
ですか？

撃ち
殺されたよ

全員の

おかげで
アジトにまで
手が回ってやがる

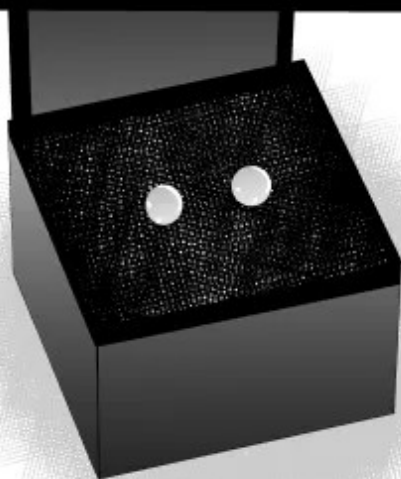
アタシの
ツラも
割れてんな
こりや

……潮時……
か



ブランド品だ

やるよ



柄にも
ないですね

.....

っせーな

趣味じゃなきや
売れば良いさ

イヤです

・・・そうか

どうしますか
これから？



……
そうだな

手が回る前に
飛ぶか……

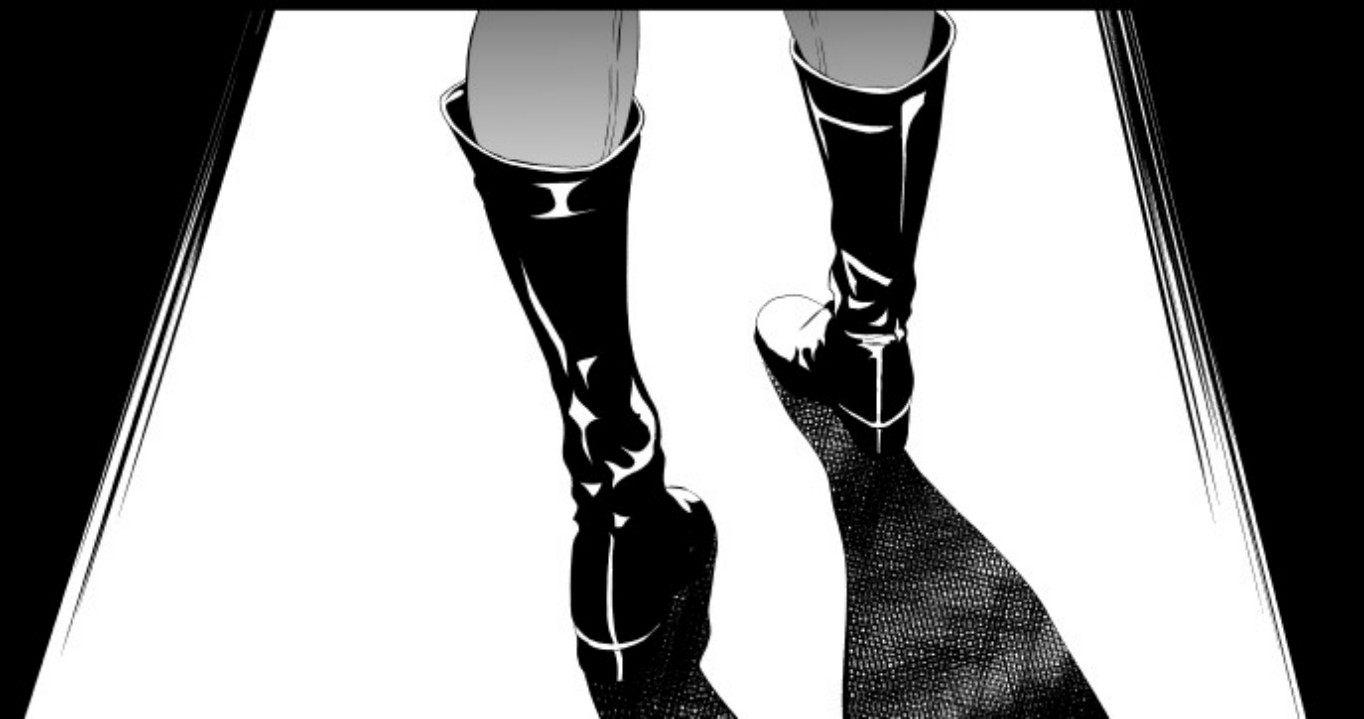
南アフリカか
カメルーンか

……

準備しとけよ？

……うん





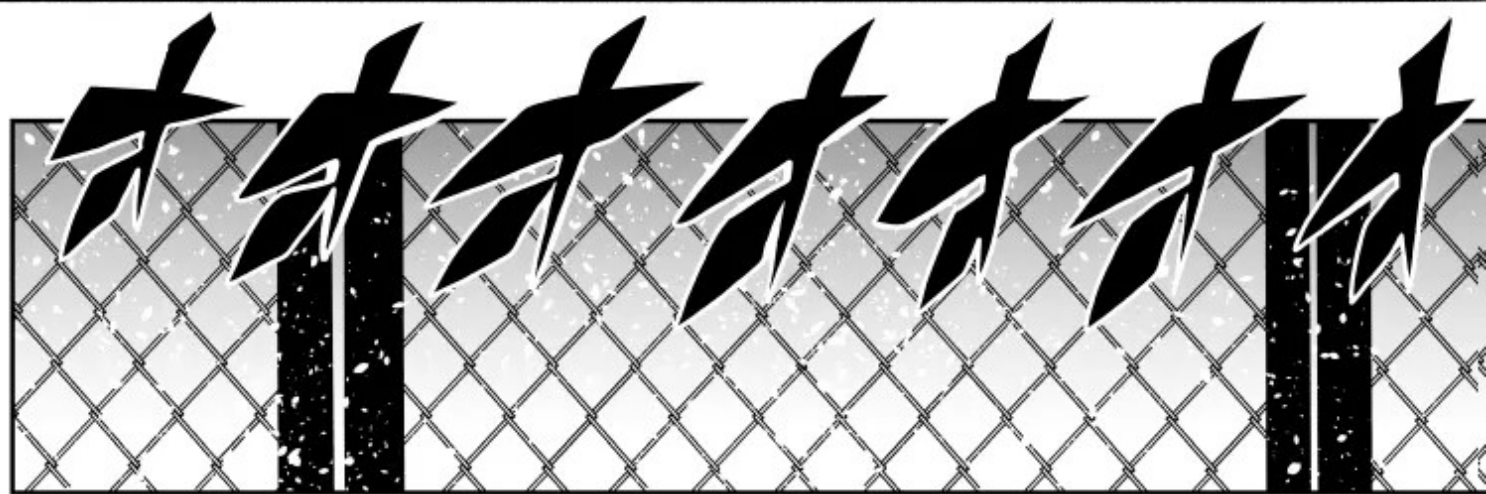






日本？
行ったこと
ねーし

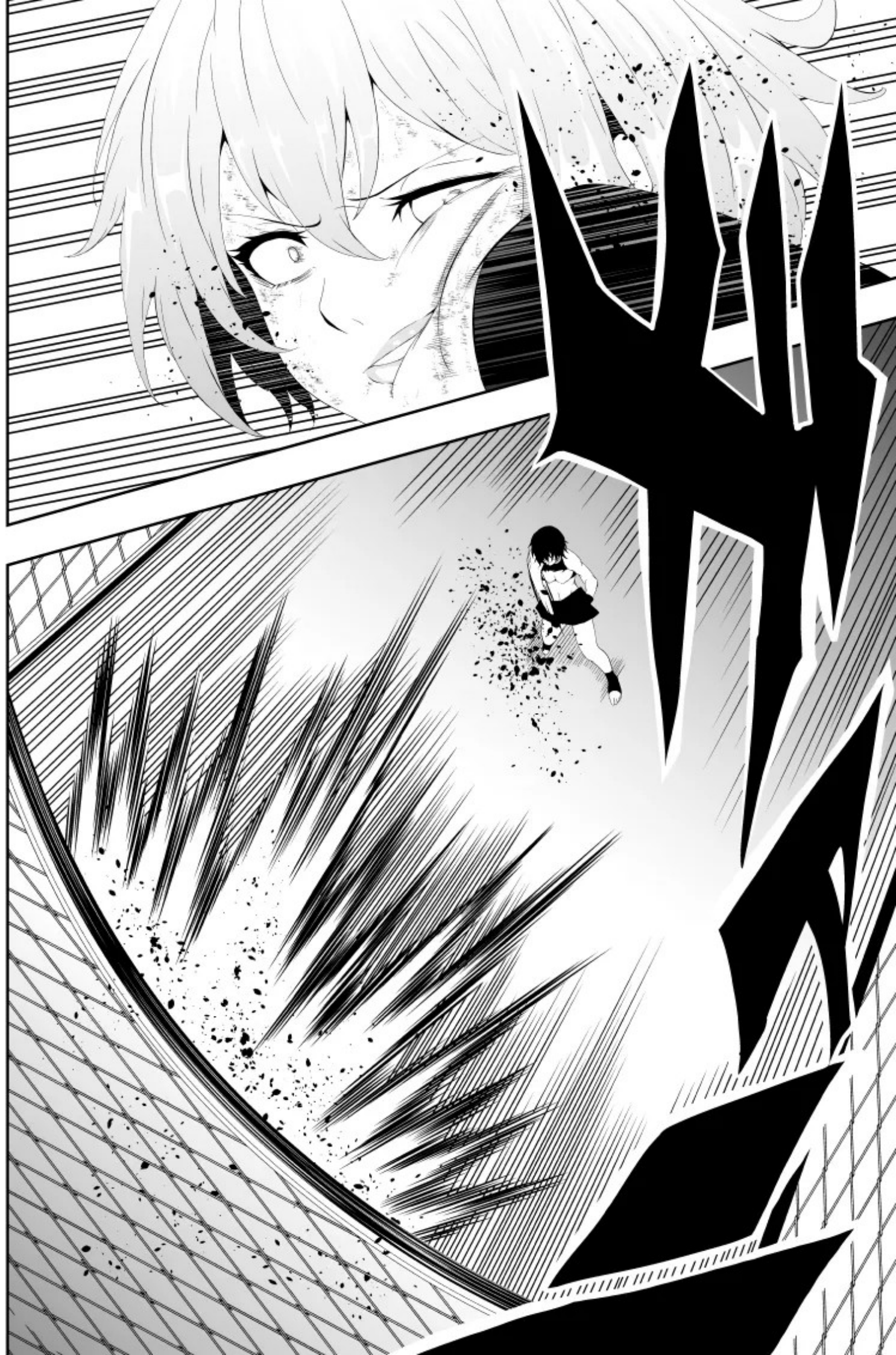
興味も
ねーよ



嘘つき

















ぶっ潰す!!!







嫌悪感だ：

お前を
見る度に
感じていた
嫌悪感が

その
正体が
やっとわかった

お前の眼は

昔のアタシと
同じ眼を
してやがる

未来に
眼を向けて

前しか
見てねえんだ

ムカつくよ

世の中を
ナメてた

クソガキの
自分を
思い出すんだ

なあ
あの時

お前と
一緒にいる道を
選んでたら
どうなってたかな？

アイツらと
一緒にいたら
どうなってた？

くだらねえ



だからー







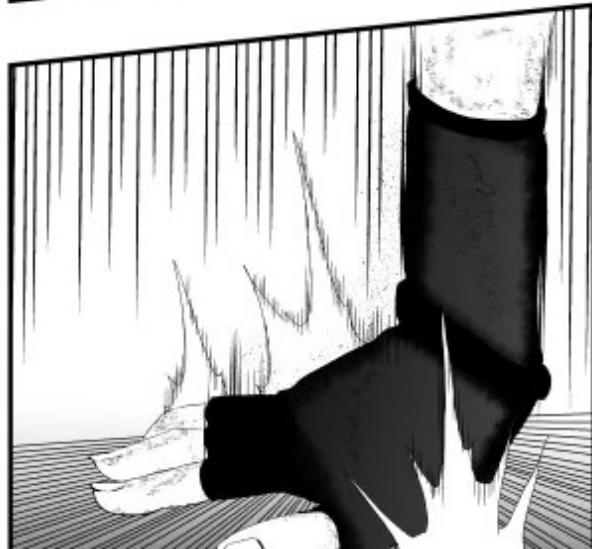
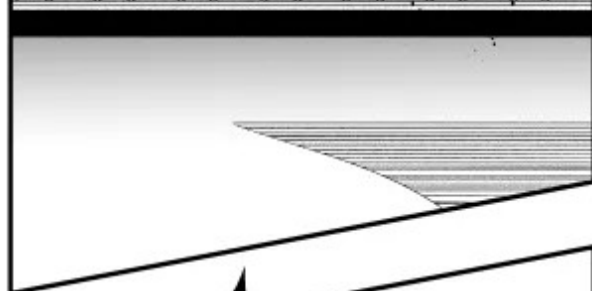
地下格闘技場



勝者—

ミア vs マナミ





ナメてん
じゃねえス

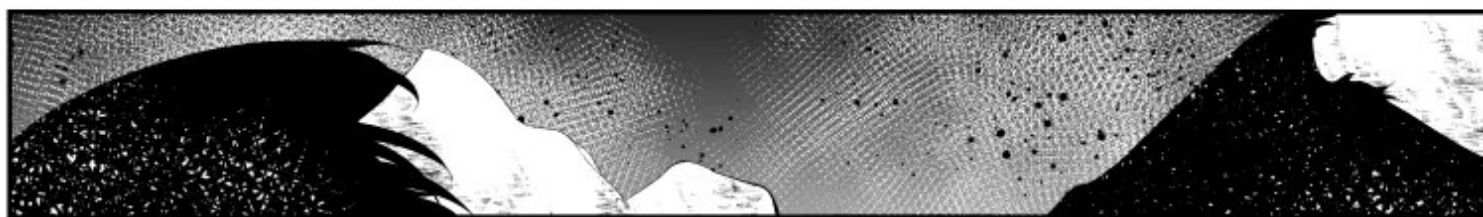
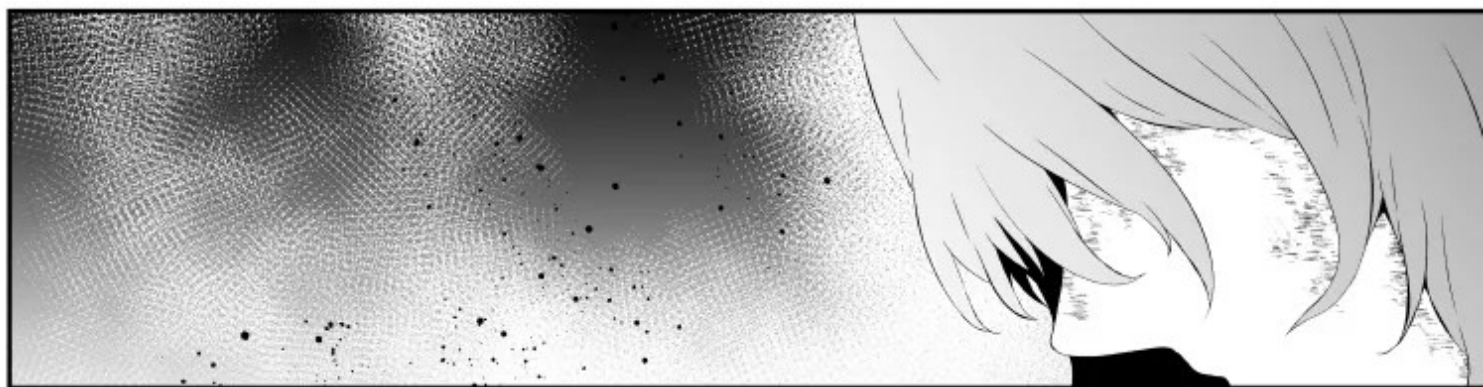
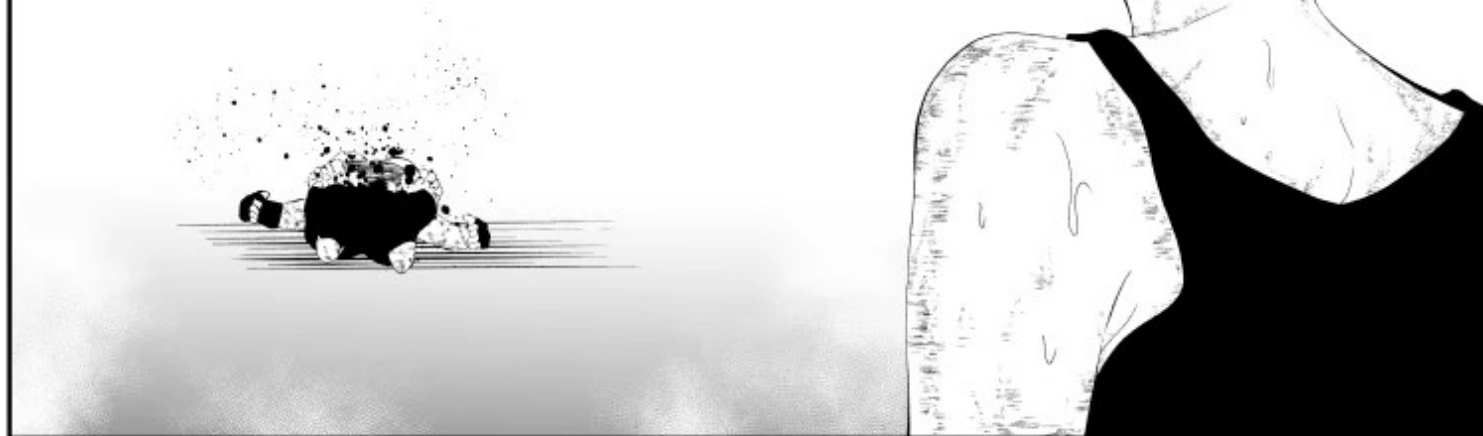
ク
ッ
オ
タ
ク

!!









地下格闘技場

マナミ VS ミア



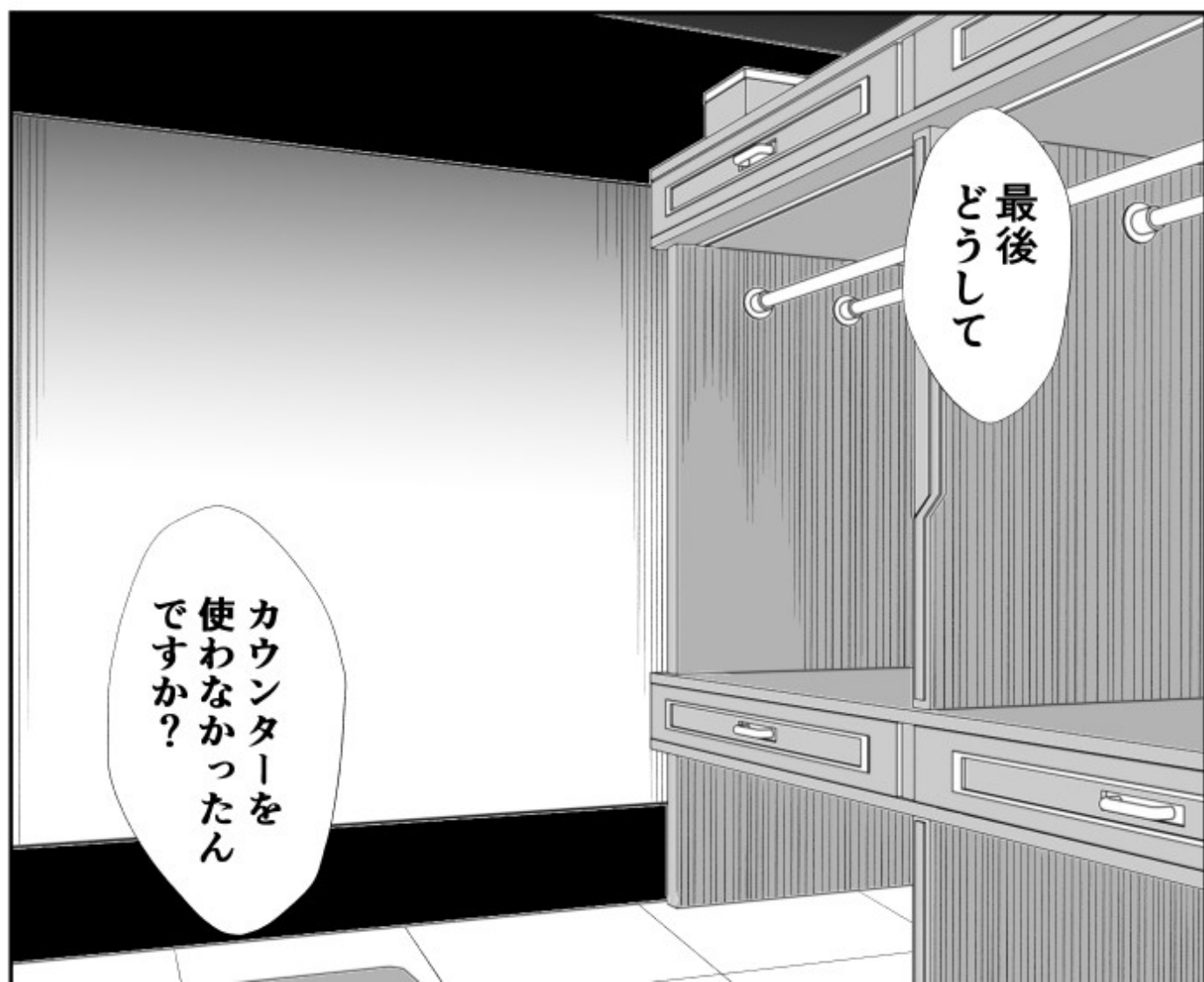
勝者——マナミ







けひっ



最後
どうして

カウンターを
使わなかったん
ですか？

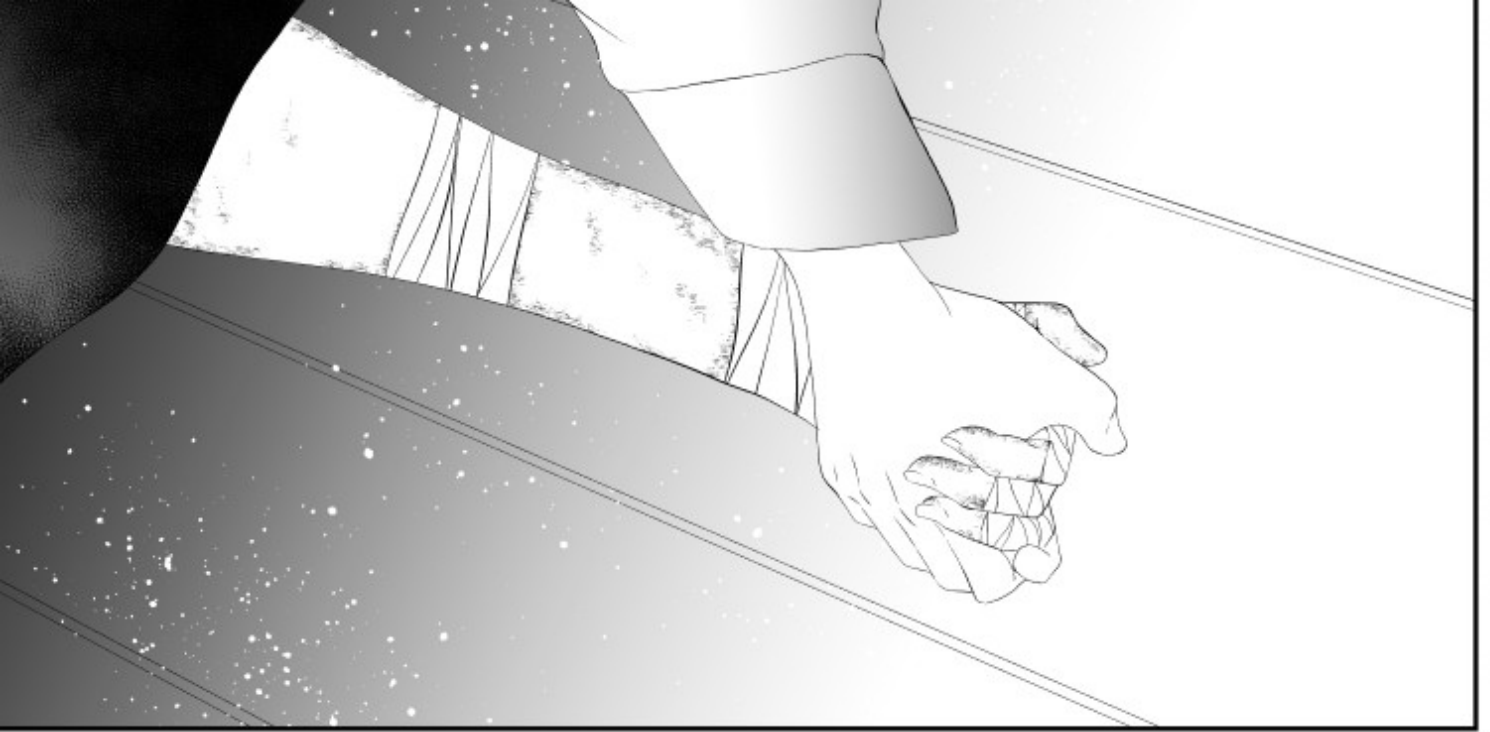




失ったモンも
手放したモンも

なかったことには
できない

だからー



…ありがとな

…イザベラ

退屈していた



牙も爪も
研ぎ
数多の敵を
倒し屠ってきた

その獣は
玉座にて
退屈していた

歴戦の獣達も
戦う前から
降伏し
こうべを垂れる



噛みついて
くるのは
吠えるだけの
小物ばかり



だが――

いっつてえー









だがその獣は
死線をくぐり抜けて



王と戦えるまでに
牙を研いできた



戦ろーぜ
アタシと！

クソヤンキー！



アイツをココに
誘ったのは
アタシだからな

おもしれー
場所があんだ
来いよ！

退屈は
させねーよ

だけど結局
アイツは
相も変わらず
一人だった

アイツと
同じ土俵に
立ってくれる奴は
現れなかった

その事が
ココが終わると
言われた時に
心残りになると
思った

だから
あのバカを
起爆剤に
できればと
思ったが

予想以上
だったな

まさか横から
チャチャ入れたく
なる程とはねー

ベー

アタシは
前座

本番は
こっからだよ



クソオタク

っせーんだよ

—Next

不良少女

白目失禁敗北 10

最終話

才
タ
ク
少
女

vs

不
良
少
女

ご購入
ありがとうございます
ございます



※この物語は
フィクションです。
実在の人物・団体・事件などには
いっさい関係ありません。
本作品の無断転載・加工・複製を
禁じます。
尚18歳未満の閲覧・購買は禁止です。

サークル
Aries